

＝執筆者紹介＝

- 大江 満** 立教学院史資料センター研究員  
85年同志社大学大学院神学研究科修了  
博士（文学）〈筑波大学〉  
著書『宣教師ウイリアムズの伝道と生涯―幕末・明治米国聖公会の軌跡―』（刀水書房、00年）  
共著『日本プロテスタント諸教派史の研究』（教文館、97年）  
共著『日本プロテスタント史の諸相』（聖学院大学出版会、95年）など
- 鈴木勇一郎** 立教学院史資料センター学術調査員・研究員  
72年生まれ  
02年青山学院大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了  
博士（歴史学）〈青山学院大学〉  
著書『近代日本の大都市形成』（岩田書院、04年）  
論文「東京における都市交通の成立と再編成」『两大戦間期の都市交通と運輸』（日本経済評論社、10年）など
- 豊田雅幸** 立教大学文学部助教  
立教学院史資料センター研究員  
02年、立教大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学  
共著『中国山西省における日本軍の毒ガス戦』（大月書店、02年）  
共編『東京裁判と国際検察局―開廷から判決まで』（現代史料出版、00年）  
共編著『侵略の証言』（岩波書店、99年）など
- 永井 均** 広島市立大学広島平和研究所准教授  
立教学院史資料センター研究員  
02年、立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程満期退学  
博士（文学）〈立教大学〉  
著書『フィリピンと対日戦犯裁判 1945 - 1953』（岩波書店、10年）  
共編『東京裁判への道―国際検察局政策決定関係文書』全5巻（現代史料出版、99年）など  
論文「連合国民間人抑留者の戦争―日本占領下フィリピンの事例を中心に」『岩波講座アジア太平洋戦争』第4巻（岩波書店、06年）など
- 西口 忠** 49年生まれ。  
桃山学院史料室職員（史料室員）。  
著書等：『桃山学院百年史』（編著、87年）、『桃山学院創立125周年記念誌』（編著、09年）、『大阪川口居留地の研究』（編著、思文閣、95年）、『K.E. スミス記念講演集 シドニー大学アーカイヴズ 一過

去、現在そして将来―』（翻訳、全国大学史資料協議会、00年）、  
「日本聖公会そぞろ歩き」（『聖公会新聞』）に分担継続執筆など  
学会等：川口居留地研究会（事務局）、日本聖公会歴史研究会、  
日本英学史学会（評議員）、比較思想文化研究会、日本聖公会大阪  
教区歴史編集委員（協力委員）、『大阪春秋』編集委員

**北條鎮雄** 57年、立教大学文学部英米文学科卒業  
59年、同大学院英米文学専攻修士課程修了  
59年、文教大学付属中・高校及び駒場東邦中・高校を経て  
64年、立教高校（新座）英語科教諭（～99年）  
92年、1月～7月、Episcopal High School in Alexandria, VA 出張

**松平信久** 63年、立教大学文学部心理教育学科卒業  
68年、同大学院文学研究科（心理学専攻）修士課程修了  
89年4月～90年2月、ロンドン大学教育研究所特別研究生  
75年、立教大学文学部教育学科助教授  
82年、同教授（～06年）  
97年、立教高等学校校長（～00年）  
00年、立教新座中学校・高等学校校長（～03年）  
03年、立教学院長（～10年）  
06年、立教大学名誉教授  
編著：『表現の追及』全3巻（松平他編、教育出版、98年）  
『教師のライフヒストリー 昭和史を教師として生きて』（東京大学  
出版会、88年）  
著書：『時に生き時を超えて 物語に表れた時間・父・母』（聖公会出  
版、08年）  
論文：「イギリスの教師文化」『日本の教師文化』所収（東京大学出版  
会、94年）

**油井原 均** 立教学院史資料センター学術調査員・研究員  
03年立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程退学  
論文「鈴木利貞と小学校教員社会」（久富善之編『教員文化の日本の特  
性』、03年）  
論文「斎藤喜博の教職員組合観とその背景：1954年「教育二法」案公聴  
会での公述を中心として」（『立教大学教育学科研究年報』49号、06  
年）ほか。